

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		4	1	曜日によっては狭いと感じる。昨年よりは減ったが。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	4		1日4～5人配置しており、問題は無いと思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		手すり、多目的トイレが設置されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3		毎日の引継ぎで、活動の振り返りや問題点を話し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1		連絡帳や送迎時に頂いた意見、アンケート結果はすぐに検討を行い、早めに改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				完成次第、ホームページにて公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	未回答 1	4		第三者委員訪問時は意見をもらい、改善できるところは実施している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		外部の研修に参加する機会は少ないが、会議時に虐待防止の研修を行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			契約前にアセスメントを実施。また、必ず1年に一度面談の機会を設けており、要望があれば、随時、面談を行い、計画につなげている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			利用者特性が異なる為、事業所独自で実施している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	3		月に1回の会議で案を出し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			個別で取り組む政策と、全体で行う製作に分け、月ごとに内容を変えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			利用者様、支援員とも見通しが持てるよう前日までにはスケジュールを決めている。また、長期休暇でしか行えないような活動を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			特性に応じ、集団活動と個別での支援を取り入れてる。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			通常下校時には、全員で行えることが多い。休日は利用者様が早く来所されるため、打合せをすることは難しく、個々に伝達したり、前日に打合せを行っている。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		2	3	支援終了後は勤務時間に差がある為、翌日の引継ぎ時に報告、検討を行って、全員に周知できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2		毎日利用者様ごとに記録を残し、支援計画作成時に検証し、改善すべき所は改善している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			半年に1度の他に明らかに現状を把握しながら、必要と思われる時は作り直している。また、要望やご本人様に合わせて、計画を見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		4	1	必要に応じて個別の取り組みを行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			管理者または児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			可能な限り学校公開等は参加し、学校送迎時に下校時間や行事を確認している。また、学校の緊急メールにも登録している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	医療ケア対象の方はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		1	4	保護者様や相談支援事業所からも情報をもらっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			当法人の生活介護に移行する場合は行っている。他法人の場合は情報を求められたときは情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1		4	今年度は可能な限り参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	今年度は交流はなかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		3	2	参加出来ていないと思う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時や連絡帳、電話等で情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	3	今年度は研修などをお知らせする機会はなかった。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	3		契約時に行っているが、その後の変更点は文章でお知らせしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			面談や連絡帳等を通じて、困っている事や相談事を伺っている。

明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	保護者会の設置はない。法人全体では事業所説明会(年1回)、参加される保護者様が顔を合わせているが、参加される方は殆ど居ない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情を受けた際は、職員間で対応を話し合い、保護者様に報告している。また、必要に応じて、報告書を作成し、全職員への周知を行っている。
非常時等の対応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2		法人全体では広報誌を定期的に発行し、SNSを随時更新している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			写真掲載について同意書をもらっている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	2		契約書等はルビ付きにし、ロッカーには写真や名札を貼っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	4	今後取り組んでいく予定。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3		作成してあるが、全ての非常時には対応できない。その都度、職員の柔軟な対応が求められることもある。保護者様にはマニュアルの開示は行っていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			年に2回程避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			月の会議で行う機会を設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2		情緒が乱れた際の対応方法を保護者様に聞き、対応している。また、体勢保持等をする際にクッションやベルトを使用する際は保護者様に同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			アレルギーや苦手なものは事前に把握し、提供していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			事業所での引継ぎや打ち合わせ時に周知している。

* 令和4年度作成

実施者 5名